

瑞穂市立牛牧小学校で防災講座を行いました

令和6年6月3日（月）、瑞穂市立牛牧小学校で5年生112名に防災講座を行いました。学校は犀川と五六川に挟まれており、学校のすぐ近くには昭和51年の9.12豪雨災害の浸水位（195cm）標示板がたっています。

講座では、伊勢湾台風や小学校でも浸水被害のあった9.12豪雨災害などの過去の水害や、5月28日には岐阜県に線状降水帯の予報が出されたことから、線状降水帯による降雨被害についても学習しました。ハザードマップを知っていますかの問いかけには全員が知っているという回答し、更に、自分の家の浸水深まで確認したことがあるかの問いかけにも多くの児童が確認したことがあると回答するなど、防災意識の高さが伺えました。

元気いっぱいの学年で、学校の想定される浸水深や過去に発生した川の水位上昇、土砂災害の映像を見た際に「えー！」と驚いたような反応があり、ペットボトルを用いた防災科学実験では友人同士話し合いながら盛り上がっていました。

講座を通して、「改めて早く避難したり準備をして、自分の命を守りたいと思いました。」「家族と避難について話したいと思いました。」との感想がありました。

今回の講座が、生徒たちの防災意識向上に繋がり、災害から大切な命を守ることが出来るようになって頂けることを期待しています。

